

マニフレエスト大賞最優秀賞受賞

完全無所属・社会保険労務士

柏に確かな未来を！

現職最年少

41歳

柏市議会議員

北村

かずゆき

これまでの主な実績

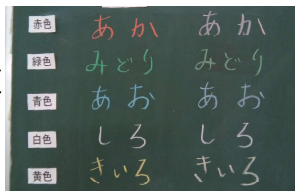
- 広報かしわ全戸配布実現（市内コンビニへ設置も）
- ヘルプマーク導入（近隣センターなどでも配布）
- 公共施設の AED 屋外ボックス設置実現
- 北村の目指す、「がん対策取組み日本一のまち」を市長が目指すと答弁。今後推進します。
- がん患者ウィッグ補助・外見上のケア実現
- 骨髄ドナー支援事業 ● JR 駅ホームドア設置
- 小中学校・市立柏高校で、色覚異常の方に見やすいチョークへ変更
- 学校トイレ洋式化 ● 学校のいじめ対策基本方針改定
- 校庭、園庭、運動場の一部芝生化。今後推進します。
- 公共施設 wifi 設置 ● 地域の道路諸問題対策 など



広報かしわ



ヘルプマーク



左が色覚チョーク

プロフィール

- 1981 9月16日生まれ 41歳
- 1994 酒井根小学校 卒業
- 1997 酒井根中学校 卒業
- 2000 東洋大学付属牛久高校 卒業
- 2003 拓殖短期大学経営科 卒業
- 2006 社会保険労務士試験合格
社労士事務所に勤務
- 2010~2014 参議院議員 秘書
- 2015 柏市議会議員選挙初当選
（現在2期目）
- 現在 明治大学公共政策大学院 在学中
- 趣味 登山、読書、マラソン

北村かずゆきの決意と5つの重点政策



23歳のときに父を肺がんで亡くしました。父は働き盛りだっただけに大きなショックでした。家族の「死」に直面し、人の幸せや個人の尊厳とは何かを考え、社会保障のスペシャリスト「社会保険労務士」を目指しました。父という大黒柱を失い、決して楽な生活ではありませんでしたが、平成18年に社会保険労務士試験に合格。その後、社労士事務所で働くなかで日本の社会保障制度の不備に悩む人々に直面し、自分にできることがあるのではないかと考え、参議院議員の秘書となりました。そこで「ともに生きる社会」の実現へ向けた取り組みに携わり、人の尊厳やお互いに支えあう大切さを痛感しました。

無所属での2期8年間、「人と命に向き合う政治」を信念に、特に命や福祉に関わることを意識し議会活動に取り組んできました。がん対策、自殺対策、子どものいじめ問題、虐待、JR駅へのホームドア設置、ヘルプマーク導入、公共施設のAED屋外ボックスの設置、防犯・防災など、命や安全を意識し仕事をしてきました。また、柏市の情報が市民の皆様に伝わっていない問題意識で取り組んできた「広報かしわの全戸配布」も実現できました。

現在、私は政策本位の議員を目指し大学院で公共政策を学んでおり、学んだことを柏市の政策に活かしていきたいと考えています。



社会保障の充実

子ども・働く世代・高齢者体のまち柏へ！

- 社会保険労務士としての知識と経験、視点を活かし、適正な社会保障制度の確立、働く方々の労働環境の向上に努めます。
- 障がいのある人や難病など病気の方々が種別や程度、年齢、性別を問わず安心して暮らし働けるように制度の充実や人材育成に取り組めます。
- 現在、約550名いる特別養護老人ホーム待機者の減少に取り組めます。
- 行政・議会・市民の「福祉意識の醸成」を目指します。(福祉意識を高めることで子どもから障がい者、高齢者の住みよいまちへ)
- 犬、猫殺処分ゼロを目指し、譲渡環境を整え動物愛護を推進します。

がん対策取り組み日進します！「柏のまち」を推進します！

- がんで苦しむ人や悲しむ家族が一人でも減るように検診受診率向上と検診受診登録者を増やし、予防から早期発見・治療・緩和ケアまでがん患者や家族、行政と医療機関、民間が一体となり、出来る限りのがん対策を実施し、がん対策先進自治体を目指します。(北村の議会質問に対し、がん対策日本一のまちを目指す前市長、現市長が答弁)



子育て・教育

安心して子どもを産み育てられるまち柏、地域から信頼の学校を！

- 出産、育児、保育など多様化したニーズに応えられるよう、子育て世帯への支援を強く押し進めます。
- 子どもの貧困や不登校対策、遊べる広場など、全ての人に居場所と機会の創出に取り組めます。
- いじめや虐待対策、子どもの命を守る環境整備を引続き強い覚悟を持って取り組みます。
- 学校トイレの洋式化を推進し、(水道料金1/3削減、高齢者にも優しい)緊急時の市民の避難場所としての機能を強化します。
- 次世代を担う若者や人口減少社会を見据え、全ての教育無償化を含む大胆な若者支援が必要と考え、柏市の若者支援政策推進に取り組めます。



まちづくり

地域の安全を守り、安心して元気に暮らせるまちを！

- 暴力、性犯罪、詐欺、強盗等の卑劣な犯罪には断固として立ち向かい、悲痛な事件が起きないように行政や地域で連携し犯罪が起りにくい環境づくりに取り組みます。
- 市内160ヶ所の防犯カメラを増設します。
- 市民が習慣として運動や筋力トレーニングに親しみ、一人ひとりが心身ともに元気に暮らし、ひいては健康寿命が延びるようフィットネス文化の醸成に取り組めます。
- 学校の校庭、園庭、地域のグラウンド芝生化を目指します。
- 運転免許返納に伴う公共交通対策、コミュニティバス導入や民間交通事業者と連携、補助制度創設など利便性のある交通手段の確保に取り組めます。
- ごみの戸別収集を更に推進します。ごみ出し困難者(高齢者や障がい者)が居る事理解・周知啓発に努めます。



行財政改革

無駄の削減、情報公開の徹底を！

- 情報公開の徹底、政策形成過程の透明化を目指します。
- 選挙公報や議会だよりの全戸配布、ペーパーレス行政、デジタル技術を活用し市民の利便性向上に取り組めます。
- 事業の取捨選択、コスト削減を厳しくチェックし、子どもや若者への支援を進めます。
- 政務活動費額や議会だよりの文字数が会派や無所属かで差別されないように公平・公正な議会を目指します。



平和・安全

平和！戦争の脅威を次世代に！

- 幸運にも日本が戦争をしていない時代に生まれ、政治を担わせて頂いていることを「過去と未来への責任」と捉え、個人の尊厳が守られる平和で安全な社会を目指します。党派や政治的立場を超えた「命」に向き合う政治家であることをお誓いします。
- ハザードマップ全戸配布をはじめ、防災・防犯対策を強化し、市民の命や安全を守り切る体制を目指します。